

ぶんと通信

第51号

2007年4月15日発行
(財)伊賀市文化都市協会

百地砦

伊賀流忍術の上忍として戦国期に活躍した武將、百地三太夫の名は有名ですね。ただし、三太夫という人物は百地家には存在しません。おそらく百地丹波守ではないかといわれています。また、百地は一般には「ももち」といわれていますが、地元では「ももち」で通っています。

その百地丹波守が住んでいた砦跡が、伊賀市喰代にあります。小高い丘の上であり、自然の地形を利用した防御施設といわれるように、四面を土塁で築いています。内部は三百坪くらいの広さでしょうか。現在建物は残っていませんが、土塁や堀跡は確認できます。天正九年の伊賀の乱で焼失してしまったことは非常に残念です。北や南の虎口からは、確かにあたり様の子がよく見渡せて、要塞のようでもあります。砦から少し離れた丘の裾には、丹波の妻や妾を葬ったとされる式部塚があります。いまでも地元では縁切り地蔵として残っているそうです。

砦の入り口には、百地家の菩提寺である青雲寺があり、最近建て替えられてとてもきれいになっています。境内には、百地家代々の墓石が並んでいます。

砦の西南には、白河天皇の勅願寺といわれる永保寺があります。また、鐘楼も残っており百地他数名の寄進者の名が見られます。この鐘楼は現役で、今でも除夜の鐘を突いているそうです。

また、百地砦と地続きの裏山には、四国八十八ヶ所や西国三十三ヶ所の石仏群が所々に散らばっています。とくに四国八十八ヶ所の石仏は二体ずつありこれは大変珍しいことだそうです。

百地砦のまわり一キロほどにこんなにも見所があるなんて。武將、百地丹波守(三太夫)の力の大きさを表しているようでありませぬ。喰代のバス停近くにありますが、五百年ほど前、多くの下忍たちと住んでいた地を一度訪れてみて下さい。

謎の人物、百地三太夫。さすがに伊賀忍術上忍だけあって、自分の正体を煙に巻くのがうまいものです。
(広報事業委員 奥 真也)

ぶんと通信

BUNTO チケット情報

第27回 新人演奏会inいが

 <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: red;">好評発売中</p>	 <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: red;">好評発売中</p>	 <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: red;">好評発売中</p>	 <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: red;">6/12 発売</p>	 <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: red;">4/28 発売</p>
<p style="font-weight: bold; color: red;">4/22 (日)</p> <p>開場 13:00 開演 13:30 1,000円(全席自由)</p> <p>伊賀市文化会館</p>	<p style="font-weight: bold; color: red;">5/20 (日)</p> <p>開場 13:30 開演 14:00 一般 1,500円 高校生以下 1,000円 (全席自由) 当日500円増</p> <p>あやま文化センター</p>	<p style="font-weight: bold; color: red;">7/16 (祝)</p> <p>開場 18:30 開演 19:00 4,500円(全席指定) 当日500円増</p> <p>ふるさと会館いが</p>	<p style="font-weight: bold; color: red;">7/29 (日)</p> <p>開場 13:30 開演 14:00 1,000円(全席自由)</p> <p>青山ホール</p>	<p style="font-weight: bold; color: red;">7/29 (日)</p> <p>開場 16:30 開演 17:00 6,600円(全席指定)</p> <p>伊賀市文化会館</p>

*学生は当日学生証提示で半額払戻し

桂 小米朝

2月25日(日)伊賀市文化会館にて「上方落語の会 桂ざこば 南光 小米朝 三人会」が開催されました。本番前に小米朝さんにお話を伺いました。

Q: 何歳の時に落語を生涯の仕事にと思われましたか。

A: 「男三人兄弟のうち、一人くらいは(親と)同じ道に…」と、母親の望みでもあったと思いますが、私自身、長男ということもあり、高校生の頃から何となく使命感のようなものを抱いていました。枝雀さんやざこばさん他、兄弟子さんたちの後押しで、大学2年の時に噺家になりました。

Q: 落語という伝統芸能を継承する重圧はありますか。

A: 当初は、反省と後悔の日々の連続!!

ドイツ語が好きで、それを活かして役者や演出家にもなりたかったけれど、どれも中途半端な出来で……。でも、落語家として舞台の上になれば、やりたいことを実現できる。と、「重圧」が次第に「欲」に替わってきました。先人の教えを大切にする落語は素晴らしく、それを継承できることは素晴らしいことではないかと思ひ、重圧も薄らいできました。

Q: 古典落語は言い表し方や言葉などが大変難しく思いますが、途中で忘れるなどハプニングを経験されたことはありますか。

A: 完全に忘れるということはないけれど、冷や汗をかいたことはあります。とにかく練習ですね。

Q: 今風(現代落語)のネタは、どんな時に思いつけますか。いつも人間観察などされているのですか。

A: 父(米朝)と酒を飲みながら交わす言葉の中に…。母の介護の辛さの中に…。嫁と夫婦喧嘩している最中にもネタを考えています。人の意見を聞くことによって、次の自分が見えて来る…。と思っています。

Q: 今後の「こんなことがしたい。」とか「こんな所でしてみたい。」とか夢はありますか。

A: いろんな所に行きたくさんの人に来て、使命感持って落語を守っていかなければならないと思っています。どんな所でも落語はできますよ。自分なりの段取りがあるけれど、お客様を前にしたらどんな時でも波長のあう喋りをする……。恐ろしい時もあるけど、楽しい仕事ですよ。



5分か10分くらいのつもりが、色々お話していただき30分以上にもなりました。48歳という一番充実した年代になり、大変ではあるけれど自分自身にワクワクされているように見えました。家のことも、自分のことも何も隠さず良い格好もせず、人を信じて修行されていく小米朝さん、素敵なお方でした。きっとお父様のように楽しく立派な落語家さんになってくれると思いました。

(広報事業委員 松永 啓子)

楽屋のトピッ

ひまわりラヂオ

3月21日(祝)伊賀市文化会館ホワイエにて「ふんわりポップスを楽しむティータイム from ひまわりラヂオ」が開催されました。本番終了後お話を伺いました。

Q: 初めての日本ツアーということですが。

さやか: 私はまだパークレイ音楽院の学生で、自分たちでこのツアーを組みました。津市出身なので是非三重県でコンサートをやりたいと思っていたので、実現できてとっても嬉しいです。地元の方に気軽に楽しんでいただけるワンコインコンサートはすごくいい企画だと思います。

Q: デビューアルバムについてお聞かせ下さい。

つね: 自分達でプロデュースしてレコード会社を通さずにネットショップでCDを販売するのは初めての試みだったので、資金面でのやりくりや、バーコードやデジタルコードの取得などやらなければならない事が多く大変でした。アメリカにいて日本ではまだ知られていないわけですから、ウェブサイト限定した新しい取り組みにチャレンジしています。

Q: いろんな国の音楽に熟知されていますか。

つね: ブラジル、アイルランドとジャズ、この3つの音楽の影響はかなり受けています。特にアイルランドの音楽は日本人にじっくりくるものがあります。

としお: 在学中に南インドの音楽に興味を持つようになり、今もボストンでインド人の方に習っています。先進国とは違う世界に接することでものを見る価値観が変わってきました。

Q: ボストンでも日本語で歌われているそうですが。

A: さやか: 最初は少し心配だったのですが、歌の間に説明をはさむようにすると意外に暖かく受けとめてくれて、皆さんノリがいいので楽しそうに聴いてくれる人が多くなってき

ました。日本語の歌詞で歌っているのはものすごくこだわりがあってというよりは私にとってすんなりと表現できることだからです。それが自然だと思って歌っています。

Q: 今後の活動について教えてください。

としお: 今年の夏以降日本に帰って本格的にこのバンドの活動を開始します。

つね: 東京でのライブにはレコード会社の方も来ていただくことになっていて、どんな反応があるか楽しみにしています。幅広い年代のより多くの人に楽しんでもらえるように自分たちの力で切り開いていきたいと思っています。

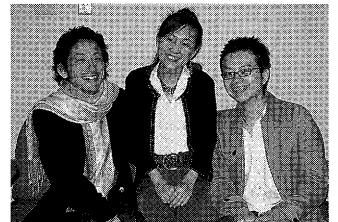
Q: 伊賀市の皆さんに何かメッセージをお願いします。

A: さやか: 祖母が伊賀市出身なので伊賀には熱い思いがありますし、不思議なご縁があるみたいです。伊賀市はとても元気のあるまち、まちづくりが活発に行われているまちだと思います。私たちも有名になって芭蕉、忍者のPRができれば楽しいです。

ほのぼのとした雰囲気の中、様々なジャンルの音楽のエッセンスをちりばめながらもしっかり芯のあるサウンドに、とても心地よいひとときを過ごさせていただきました。

また、楽屋ではボストンレッドソックスやアメリカでの忍者事情の話も出て、楽しく盛り上がったインタビューでした。

(広報事業委員 菊野善久)



左から つね・さやか・としお



筆啓上 ふるさとへ

ことだま さき 「言霊の幸わう国へ」

佐藤 修



言霊の 幸はふ国と
語り継ぎ 言ひ継がひけり

(万葉集・巻五・山上憶良)

ことだま
言霊というは何やら怪しげな呪術的なものを想起される方も多いと思うが、古代から伝えられる、言葉のもつ不思議な霊力のことである。伊賀の国の専売特許ではないが、神仏への尊崇篤い伊賀の人々は、戦乱や飢饉が打ち続いた苦しみが多い世に、殊更に言霊を大切に生きてきた国びとのように思える。

伊賀の豪族・服部氏をルーツとする観阿弥・世阿弥の能に、年に2、3回通い、「砧」や「山姥」の奥深さによろしく感興を覚え始めた最近になって、「自分が能を鑑賞する」という態度は全く間違っていて、能は壮大な言霊の世界の現出に他ならないと気がついた。

修羅物や狂女物は特にそうであるが、シテの多くは霊を演じる。戦に敗れた武将や子を喪った母の亡霊が、悲運を呪詛し慟哭する。しかし、亡霊は何かに乗って、この世に現れなければ、観客には見えないままである。その搭乘装置が、シテ・ワキ・ツレ・地謡といった演者たちの発声や舞や動作、笛・太鼓・大鼓・小鼓の囃子方の音、能面や衣装・舞台装置、というもっとも幅広い意味での能の「言葉」に他ならない。

観客は、降臨した霊と向き合うことになり、自己の魂と交信し、

交感する。「船弁慶」の場合は、観客は「見るべき程の事は見つ」として壇ノ浦に沈んだ後シテの平知盛の霊と対峙しなければならない。私なら、作者である観世小次郎信光(=観阿弥の曾孫)には、知盛と運命を共にした祖先・伊賀平内左衛門家長の鎮魂をどのように意識したのかも問うて見たい。登場人物も作者も演者も他の観客も含んだ数多くの霊と霊、魂と魂、心と心が時空を超えて幾重にも共鳴しあって、壮大な言霊の交響詩を能舞台上に奏でていく。

この世には数え切れない多くの人々の生と死があり、喜びもあれば悲しみもあった。人だけでなく、山川草木、森羅万象に精霊が宿り、八百万の神々がおられる…。

言葉の力を信じ、そこに霊性を込め、先人に学び、後代に委ねて行く。伝統や歴史や文化や信仰とはこういうことであるのかと気付き、現代人を惑わしている安易な「自分探し」や「自己実現」が皮相で無意味な空回りのゲームと思えてきた。

言霊は、直接的な書き言葉・話し言葉に限定されず、芸術や学問などあらゆる魂の表現に存在する。それは人を勤くし、人生を意味あるもの、幸多いものにする。伊賀の国は、いつまでも言霊が幸(さき)わう国であってほしいと願わずにいられない。

■佐藤 修(さとう おさむ) 1948年旧上野市生まれ。東京大学出版会編集部勤務。青木保『文化の翻訳』、富永健一編『日本の階層構造』、天野郁夫『試験の社会史』、本田由紀『若者と仕事』など約200点の学術書を編集。県立上野高等学校同窓会東京支部会報『伊賀の友垣』も担当。

夢 ing

伊賀上野観光協会フレッシュウーマン3人 新人くノ一参上

この4月から忍者屋敷に新人くノ一3人がデビューした。3人ともに伊賀が大好きで、自分のふるさとに対する愛情をきっちり持って、同様に観光のお客様にとっておきの笑顔で最高のおもてなしができるよう努力していきたいと意欲満々。この職場は楽しくてやりがいがありますと目を輝かせていた。



杉本 祐子さん

高校時代演劇部で頑張ったことを活かして、伊賀の魅力を観光客の皆さんにわかりやすくPRしていきたいです。



竹田真規子さん

笑顔でのおもてなしを心がけていきたいです。高校時代ハンドボール部だったので、手裏剣打ちはおまかせを…?

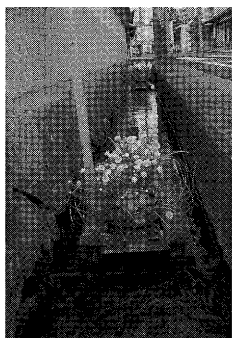


樋口 麻美さん

自分の故郷である伊賀の素晴らしさをいろんな人知ってもらえれば嬉しいです。忍法お菓子作りの術が得意です。

伊賀のええもん見つけた

江戸時代にお伊勢まいりで賑わった阿保の宿場まちには、道の両側にきれいな水路があります。(当時は、初瀬街道と呼ばれていました。)水路は江戸時代初期からあり、道の真ん中に作られていました。水は木津川の「宮の淵井堰」から引かれ、明治の後期には街道の両側に移されています。宿場町であることから、馬の飲み水や生活用水、又防火用水としても大切な役割を果たしていました。当時は「上水」、「下水」と分かれており、家の前を流れる用水路は「上水」として使われていたようです。お米をとき、野菜を洗い、生活にはなくてはならない水路である為、住民からは親しみと畏敬の念をこめて「前川」と呼ばれ、ごみや炊事、洗濯の排水を流す事はきつ



く戒められていました。しかし、その水路も多くは溝蓋をされ、昔の面影が残っていません。

3月4日の初瀬街道まつりをきっかけに街道遺産として、用水路をもう一度見直そうと、阿保地区住民自治協議会が中心となり用水路に金魚の放流

阿保宿の「花筏」



と「花筏」を企画しました。安養寺さんの前の水路には地元の間伐材を利用して筏を設置し花を生けてあります。上水として長年使われてきた透明な清流に、和金の華やかな色と「花筏」は見事に彩りを添えており、素晴らしい景観を作っています。風情有あり、心なごむこの街道にもう一度訪れたい。そして今は6基の「花筏」が、もっと多く増えて欲しいと願わずにはられません。

(取材協力) 阿保在住 松本仁志氏
(広報事業委員 辻村勝則)

文化あれこれ春夏秋冬

陽気に誘われて近所を歩くと、どこからかいいい香りがしてくる、山椒の木である。棘だらけで見かけは地味でさえない、しかし一年に一度この地味な山椒が主役じゃないけれど名脇役になる時期がある。桜の花が咲き終えるころ若葉が芽吹いてくる、これを摘み味噌とあえてコンニャクや野菜につけると「木の芽田楽」の出来上がりだ。なかでも豆腐につけると田楽料理の定番「木の芽豆腐田楽」になる。

子供のころ(かなり前)農家だった我が家は、田植えが終わると親父が竹を採り串を作り、里山で作った炭で火をおこす。近所の豆腐屋で買ってきた固めの木綿豆腐を切り分け、串を刺し味噌をつけて焼き、皆でワイワイ言いながら食べた思い出がある。農村ではこの時期が「野休み」と言われ、田植えの労をねぎらい又、過労を戒める大切な行事だった。

内陸で魚もなく、食生活の知恵として大豆たんぱくを豆腐や味噌でとり、季節も楽しんでしまう伊賀人、材料も近くのものばかりでまさに地産地消だった。翻って現代人の食はどうだろう、世界中から取り寄せた有り余るほどのご馳走が日常化している、身の回りの食材で幸せだったあの頃に帰れるのだろうか……

特集 桜散ったら木の芽豆腐田楽

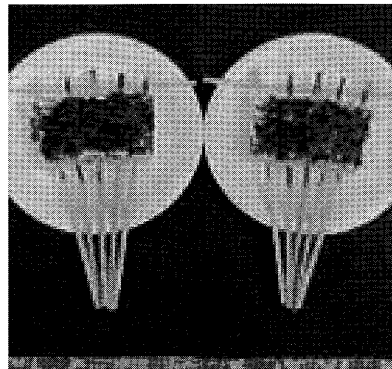
—木の芽豆腐田楽レシピ—(通常一食分 350キロカロリー)

材料

豆腐：200グラム、2分の一丁、116キロカロリー
味噌：少々
砂糖：少々
山椒：先端の若葉のみ2葉ほど(4月中旬採取)

調理

豆腐を1.5cm角程度(芯まで万遍なく熱が通る)に切り、芯に竹串を刺し5つ切り(一食分の半分)を扇子上に組み合わせ炭火コンロに乗せ、味噌、砂糖、山椒の葉をよく混ぜ合わせ、豆腐に塗りトロ火で程よい硬さときつね色に仕上げる。



【資料提供】恒岡弘二氏
(広報事業委員 森 正美)

こだわり人生乾杯

「伊賀の自然に癒やされて」

クラフト アート
Craft art

宮田 みちこ

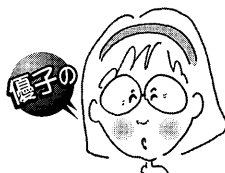
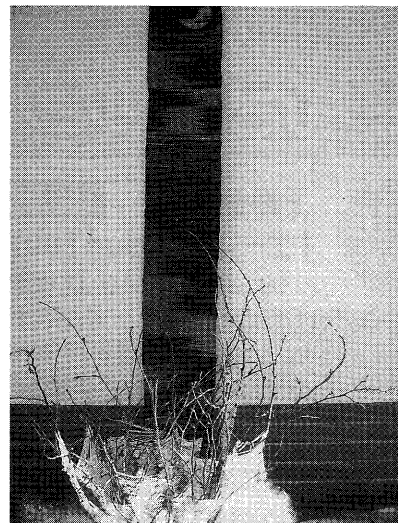
ふと気がつくとな人生の折返し点を過ぎていて、何にこだわって生きてきたのだろうと自問してみる。物心がつく頃には、^{ハサミ}鋏と紙を持って何かを作っていて、いつしか紙が布に替わり、布が糸に替わり、何かしら手づくりをしてきた自分があることに気がきました。

今は、自然の木の葉や枝から少し色をいただき糸を染め、^{ハタ}機にかけ、布を織る。その糸たちが絶妙に語りかけてくる。そんな糸たちにもう少し違ったharmonyを奏でてもらいたく、木の枝に糸を渡してみたり、つるに巻きつけてみると、温かくやわらかい灯ができました。自然に感謝です。

鳥のさえずりに目覚め、雲の流れを眺め、霊山からの吹き下ろす風を受け、ふるような星に囲まれ、月の光を浴びる。只々素直な気持ちで自然と向き合っていると思っています。

この伊賀に住み始めて、四十数年がたち、すっかり根をはやした自分に、自問自答しながら今日も手づくりをしている伊賀人の一人です。

(大山田在住)



多情 多感

No.11

「老・老介護」

北泉 優子

我が家の老猫が、どうやら軽い認知症になったらしい。夏が来れば19才になるから、人間で云えば百才を超える年だ。ボケて当然なのかもしれないが、猫も認知症であるのかしら…。

が、症状は人間のそれとまったく酷似している。眠っている時と食べている時以外は、夜昼関係なく鳴いて、家の中を徘徊するのだ。その鳴き声たるや、全身の力を振り絞ってといった感じで、ウォーンウォーンと叫びまくる。最初は優しく「ミイちゃん、やかましいわよ。静かにして。」とこたえていたが、数ヵ月後の現在は「うるさい！黙れッ バカ!!」と、こつちが大声になってしまった。

けれど、ふと考えた。これが動物ではなく人間だったら、どうしただろう。けっして怒鳴ったりはしない。やさしく、親身に接するだろう。

言葉は分からなくても、その愛情は伝わるはずだ。そう思い直しても

し認知症なら心からの介護をしてやろう。猫とはいえ、家族なのだから…。決めたわたしは、いっさい叱らないことにした。発作が起きると、すぐにとんでいって頭や首筋を撫でてやり、「ミイは良い子だねえ、ミイみたいな良い子は、世界中どこにもいないよ。一緒にいようね。」と話しかけてやる。すると、ふしぎに発作は収まる。そして、居場所である居間のこの傍らへ自分から先にゆく。わたしの在宅している昼間はそれでいいのだが、手を焼くのが夜中だ。熟眠中を鳴き声で起こされると、寒いし、とんでゆくわけにはいかない。この時は、仕方なく、声だけかけてやる「ミイちゃん、ここにいるよ。寝ているんだから、ミイも寝なさい。ミイちゃん。ミイちゃん」

これで発作がやみ、しばらく静かになる。もちろん、鳴きやまず、一時半や二時半に叩き起こされることもしばしばだが。

うちの猫は、老化による重い腎不全になっている。透析がわりの点滴をして、生命を保っているのだ。点滴は今年の四月十日で丸五年になる。まだまだ元気で、エサもよく食べ、徘徊時には走っていることもある。

もう高い所へは登れないし、白髪も増したが、毛艶もよく体重も3.6kgを維持している。痩せてきたら危険信号だそうだが。

ある日、獣医に訊いてみた。「鳴くのとは徘徊をやめさせる方法

ってありませんか」

「薬を使えば少しは収まりますが、副作用がありますしね」

副作用と言われて、わたしは、すぐに使用を諦めた。老猫にはこれ以上の負担をかけさせたくない。夜鳴きや徘徊など、こつちが我慢すればいい。そう思ったのだ。

昨今高齢化が進んで、老人が老人を介護する風潮が顕著になっていて、介護疲れで、元気な方が倒れたり、また、思い余って殺めてしまうという切ない事件まで起こっている。

さいわい、当方も高齢だが、まだ元気で健康である。相手は猫だが、老・老介護で、生涯愛猫の介護をする覚悟だ。

つい先日、ご近所の94才のおばあちゃんが急逝された。前夜までお元気だったのに、朝、起こしに行ったら眠るが如く死亡していられたのだそう。

「せめて数日でも看病させてくれたらよかったのに…」

ご遺族の言葉が胸に突きささった。両親も姉も他界しているわたしには、看病や介護をしてあげる者がいない。たとえ老猫でも、心ゆくまで介護をしてやり、天国へゆく日を見届けたい。そう考えながら、昼鳴きに疲れて眠っている我が老猫をじっと眺める今日このごろである。

(作家・市内在住)

ぶんと通信

平成19年度 伊賀市文化都市協会
ホール自主事業

ライオンクラブ

4/22 (日) **第27回 新人演奏会 in いが** **文化会館**
13:00開場 / 13:30開演
一般 1,000円 (全席自由)
※学生は当日学生証提示で半額払戻し **発売中**

5/20 (日) **木津芳夫 脳のお話&コンサート** **あやま文化センター**
全席自由
13:30開場 / 14:00開演
一般1,500円 高校生以下1,000円 (当日それぞれ500円増) **発売中**
撮影: 重木昌信

7/16 (祝) **上妻宏光 「生一丁!」Tour 2007** **ふるさと会館いが**
18:30開場 / 19:00開演
4,500円 (当日500円増) 全席指定
4/14発売

7/29 (日) **さだまさし アコースティックコンサート** **文化会館**
16:30開場 / 17:00開演
6,600円 全席指定 (一般売り初日4枚制限)
4ホール・チケットぴあのみで販売 **4/28発売**

7/29 (日) **新世紀コンサート 風呂矢早織 ピアノリサイタル** **青山ホール**
~真夏の楽園~ザ*ジャズin伊賀 2007
13:30開場 / 14:00開演
一般 1,000円 (全席自由) **5/12発売**

8/5 (日) **劇団フジミュージカル 「ヘンゼルとグレーテル」** **ふるさと会館いが**
13:30開場 / 14:00開演
一般 2,000円 高校生以下 1,000円 全席自由
6/16発売

9/7 (金) **THE VENTURES JAPAN TOUR 2007** **文化会館**
ベンチャーズ
18:30開場 / 19:00開演
5,000円 (当日500円増) 全席指定
6/16発売

9/24 (振休) **秋川雅史** **文化会館**
千の風になってコンサートツアー'07
14:30開場 / 15:00開演
4,500円 全席指定 **6/23発売**

10/14 (日) **新曲キャンペーン企画 伍代夏子コンサート** **文化会館**
①13:00開場 13:30開演
②16:30開場 17:00開演
1階 4,500円 (CD付) 2階 2,500円 (当日500円増) 全席指定 **7/14発売**

11/4 (日) **第12回 ピアノデュオコンサート「デュエット」** **青山ホール**
~お子様と楽しめるふたりのピアノコンサート~
13:30開場 / 14:00開演
一般 1,000円 高校生以下 500円 全席自由
※2才以下は膝上無料 **8/25発売**

ふるさと会館いが

- Live Road 2007
- Full・Come・Live (年4回)
- 能楽鑑賞会
- 韓流コンサート

伊賀市文化会館

- 劇団四季公演 12月予定
- CHISA&MINO 10周年 高嶋ちさ子・加羽沢美濃カジュアルクラシックス2008 (3/15)
- 由紀さおり・安田祥子コンサート (3/29)

青山ホール

- タッチ・ザ・スタインウェイ (4/22、6/3、8/18、10/7、12/9、2/17)
- 及川浩治トリオ "Bee" (1/27)
- 青山ホール子ども劇団 「うてかえりこんぼ」公演 (3/9)

あやま文化センター

- ワンコインJAZZコンサート
- 優秀映画上映会
- ワンコインコンサート
- さんさんコンサート2008

ぶんと友の会 [SaMaZaMa Club] ご案内

対象ホール ・伊賀市文化会館 ・ふるさと会館いが
・青山ホール ・あやま文化センター

特典1 インフォメーション・サービス
財団が発行する情報紙をはじめ、公演のスケジュールやチケットの発売情報をご自宅に無料でお届けします。

特典2 チケット割引販売
財団が主催または指定する公演のチケットを1公演につき1枚会員割引価格でお買い求めいただけます。※一部公演を除く

特典3 チケット先行予約
財団が主催または指定する公演のチケットを一般発売に先がけて優先的にご予約いただけます。(購入枚数・期間・購入方法等は公演により異なります。)※一部公演を除く

特典4 抽選で公演グッズなどプレゼント
どなたでもお気軽にご利用いただけますので、お友達やお知り合いの方をお誘いのうえ、ぜひご入会ください。

※掲載内容は現時点での予定です。内容の変更があるかもしれません。ご了承ください。詳細は追ってお知らせします。

年会費 1000円(入会費無料・税込)
会員期間 入会日から1年経過した月の末日まで
申込窓口 伊賀市文化会館・ふるさと会館いが・青山ホール・あやま文化センターまで
※SaMaZaMa Club会員継続手続きの方には、200円割引券を差し上げます。

各種催しのチケットについて
①一般発売の前に会員先行の予約日を設けます。
②一般発売は以下の発売所で取り扱いをいたします。(公演毎に異なりますのでご注意ください)
③団体及びグループでご購入の場合は発売日の1週間前までに各ホールまでご相談ください。
※発売初日の発売方法や枚数制限については、各ホールにお問い合わせ下さい。

チケット取扱所

■伊賀市文化会館 24-7015	■ふるさと会館いが 45-9125
■青山ホール 52-1109	■あやま文化センター 43-1125
■サフノ楽器店 21-0013	■ジャスコ伊賀上野店 26-2222
■伊賀上野ケーブルテレビ 24-2560	■岡森書店白鳳店 23-8800
■JAIはくろく旅行センター 21-3180	■ブックスアルデ近鉄店 67-1800

(公演により、チケットぴあやローソンの取扱いの場合有)

●公演内容や、ぶんと友の会「SaMaZaMa Club」についてのお問い合わせは、各ホールまでお願いします。

青山ホールこども劇団 うてかえりこんぼ

劇団員募集

歌ったり、踊ったり、大声を出したり…楽しみながら演劇を作り上げていく仲間を募集します。

観る楽しみだけでなく、出演する楽しみも味わってください。来年3月には、定期公演を予定しています。

*** オーディション応募要項 ***

【内 容】簡単な台詞、歌など

【開 催 日】平成19年5月20日(日)
9:30~

【会 場】青山ホール

【応募資格】小学3年生~6年生

【受付期間】5月1日(火)~5月12日(土)

【募集人数】約20名

【その他】・練習は、原則毎週月曜日の午後7時から8時30分の間で青山ホールで行います。
第1回練習日 平成19年5月28日(月)
公演2ヶ月前から、土、または日曜日の練習が加わります。

・成果発表公演を実施します。

公演日 平成20年3月9日(日)

【審査員】城哲一・藤島一子・辻本秀一・城江美子

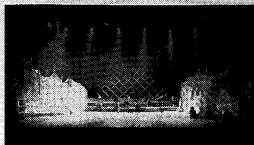
【申込方法】申込用紙に必要事項を記入の上、来館または郵送でお申送ください。

〒518-0226 伊賀市阿保1411-1

青山ホール 「青山ホールこども劇団」係

【お問合せ】青山ホール(水曜日休館)

TEL 0595-52-1109



史跡旧崇廣堂特別講座 「古文書教室」

参加者募集

歴史情緒あふれる江戸時代の藩校で、当時の文学「古文書学」を学んで見ませんか。誰でも学習いただける講座ですので、ぜひご参加下さい。



【開催日時】(4回講座)

第1回 6月10日(日) 第2回 6月17日(日)

第3回 6月24日(日) 第4回 7月1日(日)

講義時間 13:30~15:00

【場 所】史跡旧崇廣堂 講堂

【講 師】伊賀市文化財保護指導委員 増田 雄氏

【参加費】4回分 800円(初回に徴収します。)

【定 員】40名

【申込受付】5月 1日(火)~

定員になり次第締め切ります。

■お問合せ・お申込み

(財)伊賀市文化都市協会事務局 電話22-0511

体験!! 能楽ワークショップ

参加者募集

「能楽(のうがく)」ってなに?

室町時代より600年以上上演受け継がれてきた日本を代表する古典芸能です。

「仕舞(しまい)」ってなに?

能一曲のうち、その一部だけを紋付(もんつき)袴(はかま)で囃子(はやし)なして舞うことです。

日本の大切な伝統芸能を体験して受け継いでいきましょう。

■対象年齢 小学生以上(親子での参加や大人の方も大歓迎)

■場 所 ふるさと会館いが 小ホール

■開催日時 5月25日(金)
19:00~20:00

■定 員 10名程度

■持 ち 物 くつ下



■内 容 手に扇子を持ち、ゆっくりとした曲に合わせて舞うことができるまでを指導します。

※継続して参加ご希望の方は、平成20年3月に開催予定の「第8回能楽鑑賞会」に出演し舞台上で舞うこともできます。

■申込方法 ハガキに名前・年齢(学年)・住所・電話番号を記入の上下記まで郵送ください。

〒519-1412 伊賀市下柘植6243番地

ふるさと会館いが「能楽ワークショップ係」

■お問合せ ふるさと会館いが TEL.45-9125

上野歴史民俗資料館

~古代からのメッセージ~

特別企画展

「古代伊賀国の古瓦展」

古代伊賀国の各郡には、三田廃寺、鳳凰寺廃寺、才良廃寺、夏見廃寺といった古代寺院が造営され、これらの古代寺院から多数、瓦が出土されました。それらの古瓦を一堂に会し、時代別、地域別に展示いたします。その時代の歴史的背景を探ることができ、古代伊賀国の歴史や文化に触れていただけたらと思います。「瓦」が語る古代からのメッセージを感じてください。

■期 間■ 平成19年4月25日(水)~7月8日(日)

午前9時~午後4時30分まで

■場 所■ 上野歴史民俗資料館 2階展示室

伊賀市上野丸之内116番地2

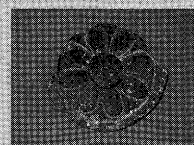
■料 金■ 参観料のみ(大人200円/高・大学生150円
/小・中学生100円)



■三田廃寺
単弁蓮華文軒丸瓦



■安国寺跡
へら書き文字平瓦



■三田廃寺
復弁八弁蓮華文軒丸瓦

■主 催■ (財)伊賀市文化都市協会・伊賀市教育委員会

■後 援■ 伊賀市

■お問合せ■ (財)伊賀市文化都市協会事務局 電話22-0511

ホール・ドーム **これから情報**

青山ホール

伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
4/15(日) 13:30~	The26th Music Garden	無料	米田真理子 ☎66-1608
4/22(日) 10:00~	第71回タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109 (青山ホール)
4/29(日) 14:00~ 18:30~	劇団座☆名張少女 2007年度公演 『鬼姫地獄変』	一般1,500円 中高生1,000円 小学生 無料	劇団座☆名張少女 ☎62-1373 (代表森田)
5/13(日) 14:00~	伊賀コミュニティオーケストラ ミニコンサート	無料	伊賀コミュニティオーケストラ ☎090-6072-2180 (事務局福岡)
5/20(日) 14:00~	ピアノ発表会	無料	高谷佳余 ☎52-3078
5/26(土) 14:00~ 5/27(日) 10:00~	ピティナ ピアノ ステップ	無料	ピティナいがステーション ☎21-0013 (サワノ楽器)
6/2(土)	伊賀あおやまシネマ倶楽部 第45回映画鑑賞会	一般1,000円 小中学生500円	伊賀あおやまシネマ倶楽部 ☎090-3280-8605 (蔵)
6/3(日) 10:00~	第72回タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109 (青山ホール)
6/10(日) 9:45~	歌謡フェスティバル ゲスト歌手: モンゲン	無料	カラオケ喫茶歌恋 ☎52-1848 (寺岡)

ゆめドームうえの

伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
4/29(日) 9:00~	伊賀市家庭婦人バレーボール連絡協議会 リーグ戦開幕式及び審判講習会	第2	伊賀市家庭婦人バレーボール連絡協議会 ☎22-9680 (伊賀市教育委員会)
5/4(祝) 9:00~	伊賀総合春季バレーボール大会 中学生の部	第1、第2	伊賀バレーボール協会 ☎63-1089 (竹本)
5/6(日) 9:00~	伊賀第9回JA杯小学生バレーボール大会	第1、第2	伊賀Jrバレーボール育成会 ☎21-5748 (生中)
5/12(土) 5/13(日) 9:00~	第29回三重県建具作品展示会	第2	三重県建具工業協同組合 ☎21-4789 (北田)
5/19(土) 9:00~	第31回三重県少年剣道練成大会	第1	三重県剣道道場連盟 ☎059-385-2093 (浜口)
5/20(日) 9:00~	平成19年伊賀市卓球団体選手権大会	第1	伊賀市卓球協会 ☎23-2767 (森永)
6/2(土) 9:00~	第56回上野子ども卓球大会	第1	上野児童福祉連合会 ☎22-9801 (中央公民館)
6/9(土) 9:00~	第27回全日本小学生バレーボール 三重県大会 伊賀予選	第1、第2	伊賀Jrバレーボール育成会 ☎21-5748 (生中)
6/10(日) 9:00~	中部総合一般の部県予選 バレーボール大会	第1、第2	三重県バレーボール協会 ☎63-1089 (竹本)

アルバイト募集

プール開設に伴い、プールアルバイト監視員を募集します。

◆勤務施設等

勤務施設名	期間	勤務時間
上野運動公園プール	7/中~8/末	8:45~16:30
大山田・阿山B&G海洋センター	6/1~9/末	①8:45~17:15 ②17:15~22:00

◆賃金額等 ①8:45~17:15 時給720円 ②17:15~22:00 時給800円

③交通費 日額最高200円

◆募集条件 健康で泳げる方で、高校生以上の方

◆問合せ先 伊賀市文化都市協会事務局 TEL 22-0511

●編集部だより●

皆さんにとって今年の桜はどんなさくらでしたか。「さまざまの思い出
すさくらかな」芭蕉翁は藤堂新七郎家の別邸で主君を偲んでこの句を読みま
した。伊賀市文化会館のホールは「さまざまホール」と名付けられ親しまれ
ています。さまざまな人が、さまざまな分野で、さまざまな考えの元に営み
を続け、微妙なバランスを保ちながら社会は構成されていると考えます。最
近バランスが崩れがちで暗いニュースばかりが目立ちますが、我がぶんと通
信では、文化薫る歴史のふるさとを自負するにふさわしい、明るく楽しい話
題ばかりで彩りたいものです。(永微意)

伊賀市文化会館

伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
4/15(日) 14:00~	よしもと爆笑お笑いライブ	2,000円 (当日500円増し)	(財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015
4/18(水) 13:30~	平成19年度労働保険年度更新説明会	無料	三重労働局 労働保険徴収室 ☎059-226-2100
4/22(日) 13:30~	第27回新人演奏会 in いが ~夢・明日を奏でる~	1,000円 (全席自由席)	(財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015
4/28(土) 13:30~	三重県立上野高等学校第11回定期演奏会 (吹奏楽の日)	各日 大人1,000円 高校生以下 500円 (当日200円増し)	三重県立上野高等学校 ☎21-2550
4/29(日) 13:30~	三重県立上野高等学校第11回定期演奏会 (ギターマンドリン&吹奏楽の日)	大人1,500円 高校生以下800円	通し券(前売りのみ)
5/13(日) 13:00~	チャリティー芸能大会 永井裕子ショー	2,000円 (当日500円増し)	三重県作詞家協会 ☎20-1362
5/19(土) 10:00~	伊賀市戦没者追悼式	無料	伊賀市健康福祉部厚生保護課 ☎22-9650
5/20(日) 10:00~	三十周年記念 民謡ふじ智会発表大会	無料	☎21-9318 (前川)
6/2(土) 13:30~ 15:00~	第26回上野同和教育研究 協議会定期総会 記念講演会 (内容未定)	無料	上野同和教育研究協議会 ☎26-7677
6/10(日) 13:30~	上野ウィンドアンサンブル 第21回演奏会	大人1,000円 高校生以下 500円 3才以下 無料	上野ウィンドアンサンブル ☎52-5850

ふるさと会館いが

伊賀市下柘植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
5/12(土) 18:30~	Full・Come・Live vol.23 チャリティーコンサート	小ホール	無料 (チャリティーに補助下さい)	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館いが)

あやま文化センター

伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
4/22(日) 13:00~	レスナーピアノ発表会	無料	☎23-9964 (桑野)
5/20(日) 14:00~	脳のお話&コンサート	一般1,500円 高校生以下1,000円 (当日500円増し)	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館いが)
5/27(日) 9:30~	第2回ファミリーカラオケ大会 (ゲスト: MAYUMI)	無料	ファミリーカラオケ愛好会歌う広場 ☎090-2574-6425 (浅野)
6/2(土)	ミュージックフェスタ2007	無料	レスナーグループ
6/3(日)	ピアノ発表会	無料	ポーコ・ア・ポーコ

★印の方に「上妻宏光(生丁)のチケットをペア」をプレゼントしま
す。次号の締切は5月15日です。伊賀にちなんだ川柳氏名住所・年
齢・連絡先・必要なら掲載用の柳名をFAX・Eメールで下記ま
でお願いします。

石垣の高さに優る伊賀情緒
伊賀弁を上手にしゃべる異邦人
伊賀焼に癒やされ春の愁い消え
朝もやにライト行き交う伊賀盆地
★伊賀学で更に濃くなる伊賀の味
井の中の蛙も石垣のぞいてる
まらかどの博物館の伊賀めぐり
伊賀学で満点とれぬ悔し泣き
伊賀検定覚えたはずだ何だっけ
くノ一になって伊賀学挑戦す
余野 四年生 梅田とほる
上田公美彦 森岡さら代 堀内 晶 中瀬恵美子 福沢 義男 高橋せつ子 井ノ上揖男



ぶんと通信

お問
い
合
わ
せ

(財)伊賀市文化都市協会

☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2

TEL.0595-22-0511
FAX.0595-22-0512
Eメール samazama@bunto.com